



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)
 質問方式 一問一答
市民病院について

Q 経営が困難になった場合、2年前に報告をし、新しい法人を探すことを条件とするという答弁があったが、地域の医療、市民病院を継続して存続させるための担保として受け取るのか、また新しい法人が経営を引き継ぐ段階で、もしだめになった場合という協議まで入っていくことがリスクになるのか非常に難しいところだと思いが、資金繰りや経営計画については提示されているのか。

A 健康医療部長

病院の計画の協議に当たり、補助金などの協議の基礎となる大枠的な計画は受領しています。しかし、法人自体が立ち上げの段階ということもあり、その資金の流れ、収支等を含めた詳細な収支計画については、今後、病院開設に向けて県のほうに開設の届け出が必要となりますので、それに向けて現在策定中という状況を伺っています。

その他の質問

☆市有施設等の在り方について
 ☆国保の広域化について



▲ 佐野市民病院



鈴木 靖宏 議員(蒼生会)
 質問方式 一問一答
佐野市学校跡地等活用について

Q 2022年の第77回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部で、高等学校の重点強化拠点校であり、オリンピック出場選手輩出した佐野高等学校ボート部や、強化推進拠点校である佐野東高等学校ウオータースポーツ部力又一班、ボート班を支援する施設として旧船津川小学校の活用や周辺整備に協力する考えはあるか。

A 観光スポーツ部長

佐野高等学校や佐野東高等学校は、ボートやカヌーの練習を旧船津川小学校付近の渡良瀬川の船着き場から高橋大橋の下流あたりで行っていると聞いています。来る栃木国体の強化校である佐野高等学校や佐野東高等学校の活躍は、本市としても期待するところですので、国体の練習に旧船津川小学校を活用することや周辺の環境整備について関係機関へ協力を求めるなど、そのあり方は研究をしていきたいと考えています。

その他の質問

☆佐野市定住自立圏構想について



▲ 旧船津川小学校



慶野 常夫 議員(政友みらい)
 質問方式 一問一答
認知症地域支援事業について

Q 認知症の方や、その介護者は、相談できる機会がなく、孤立してしまいがちである。田沼町に交流や情報を共有できるまちなかサロン「楽風カフェ」があり、今後、市内中央部や南部地区にも設置してもらいたいと思うが、市はどのように考えているのか伺いたい。

A 健康医療部長

「楽風カフェ」は、田沼町のいきいき元気館たぬまで週1回開催しており、参加者との交流やおしゃべり、悩みを打ち明けられる場所として実施しており、平成28年7月の開催から29年8月まで、来場者が延べで2,000人に達するなど好評を得ています。認知症カフェの増設については、現在、田沼地区の「楽風カフェ」1カ所です。今後は南部方面への開設も検討していきます。

その他の質問

☆婚活支援について



▲ 楽風カフェの様子